

三沢市立三沢病院が完成・開院しました。



南側外観



ホスピタルアトリウム



外来受付カウンター

CONCEPT

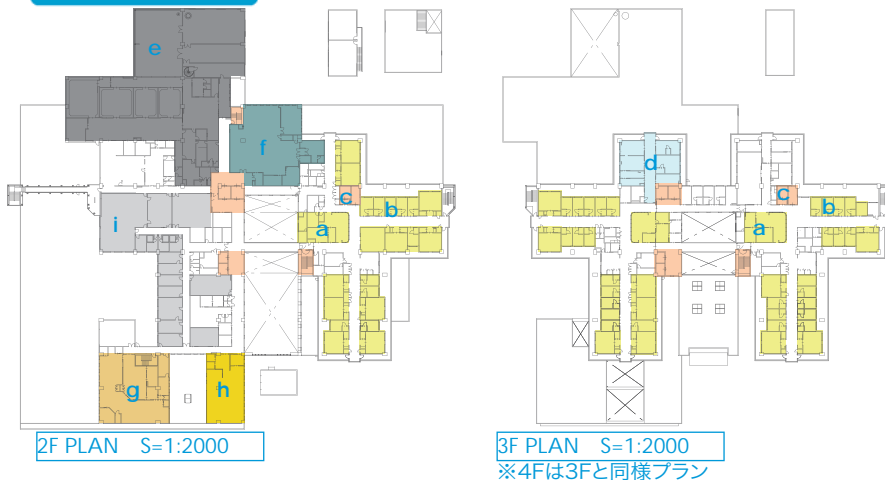
地域における拠点病院としての役割

三沢市民並びに周辺町村民への医療提供も担う、地域における拠点病院としての役割をはたしています。また、地域住民が良質で専門的医療を身近にいつでも安心して得られ、頼れる病院となる必要があります。

病院が求める質の高い医療と「誕生から死に至まで」安心して頼れる「治療完結型病院」を施設面から支え、地域住民や周辺地域に対するやさしい配慮をします。加えて、患者さんの治癒力を高めることのできる快適な療養環境の創出を目指します。そのために下記の基本目標を設定し、緑の樹のような病院をコンセプトに実施設計を行いました。

- 1) 早期離床の手助けとなる病院
- 2) “すまいからまちまで”が再現される病院
- 3) 永続性の高い病院
- 4) 患者にやさしい病院
- 5) 安全で信頼性が高く、災害時にも頼りになる病院

PLAN



2F PLAN S=1:2000

3F PLAN S=1:2000

※4Fは3Fと同様プラン



1F PLAN S=1:2000

- | | | | |
|--------------|-----------|-----------|---------------|
| a. ナースステーション | e. 手術部門 | i. 管理部門 | m. リハビリ部門 |
| b. 病室 | f. 検査部門 | j. 放射線部門 | n. ホスピタルアトリウム |
| c. EVなど | g. 人工透析部門 | k. 外来部門 | |
| d. 産科部門 | h. 化学療法部門 | l. 地域連携部門 | |



写真：エスエス東京

DATA

敷地面積	: 43,889.52㎡
建築面積	: 10,039.20㎡
延床面積	: 19,981.06㎡
病床数	: 220床
建ぺい率	: 22.87%(許容80%)
容積率	: 45.11%(許容200%)
構造・規模	: プレキャスト・プレストレス コンクリート造、免震構造 地下1階 地上4階 PH1階
最高高さ	: 28.40m
軒高	: 19.73m
階高	: 1階6.0m、2~4階4.3m
天井高さ	: 3.00m、2.70m、2.50m
主なスパン	: 9.0m×9.0m
設計期間	: 2006.08~2008.01
工事期間	: 2008.03~2010.03

044

TOPICS

早期離床の手助けとなる病院

病院建築で大事なことは、早期離床の手助けとなることだと考えます。三沢市立三沢病院の医療特徴を捉え、認識した上で、一体感の創出・癒しの空間として、空間の幹となる4層吹き抜けアトリウム配置しています。

“すまいからまちまで”が再現される病院
“すまい”である病室と、“まち”であるアトリウムを連続的につなげることで、安心感や開放感をバランスよく患者に提供します。

▶ <http://www.nissoken.co.jp>